

企業概要

- 社名：株式会社木原製作所（山口県）
- 従業員数：70人 ■ 資本金：45百万円
- 事業内容：各種乾燥機・ハウス暖房機等の開発製造販売他

<http://www.kiharaworks.com/>

- 売上高：11億円
- 知的財産：特実15件、意匠8件、商標8件



野菜乾燥機

相談のきっかけ

食品乾燥技術の事業戦略の検討

主力製品である「葉たばこ」乾燥装置で培ってきた乾燥技術の技術展開先を模索する中、その乾燥技術を野菜・果実類の乾燥に応用した所、「乾燥物が色あせない」という新技術（独自）を発見。その独自技術の特許出願をきっかけに、事業戦略の支援が必要であった。

新技術を組み込んだ食品乾燥機事業の全国及び海外展開

椎茸の乾燥機を利用して野菜乾燥を開発を進めた所、野菜の色があせないことを発見（新技術）した。その事実を専門家を交え、特許を含めた知財で保護することが必須で、更に知財を絡めた事業戦略を立案して、国内販売に限らず、海外展開も必要になってきた。

課題と支援の内容

課題	支援のポイントと活用した専門家	
知財による事業の保護	色あせない野菜乾燥技術（新技術）の特許で保護することが必要で、また、その新技術にはノウハウも含むことからその管理体制の確立の他、営業秘密管理規程、職務発明規程も必要になってきた。	知財戦略AD 弁理士 知財経営専門家
知財を事業に結び付けた戦略の明確化	知財で保護した、色あせない野菜乾燥技術を食品乾燥機に組み込み、その乾燥機を含めた事業戦略の見直しと、その食品乾燥機の販売のツールを確立する必要がある。	中小企業診断士 知財経営専門家
海外展開における事業リスクの理解と手当	食品乾燥機を海外で販売する際の知財面を含めたリスクの理解と、知財保護や知財戦略を踏まえた契約整備が必要である。	海外知財PD 弁護士 知財経営専門家

支援を通じてできたこと

項目	支援成果
知財戦略	色あせない野菜乾燥技術（新技術）の特許だけで保護するのではなく、新技術のノウハウの管理体制を確立し、更に営業秘密管理規程も策定できた。
事業戦略	「葉たばこ乾燥機」の販売網を利用した食品乾燥機の販売ツールを確立することができた。 食品乾燥機の製造ラインを強化し、量産化体制の確立することができた。
海外事業展開	海外販売時のリスクを理解した上での海外展開（ロシア・タイの売買契約締結等）を見据え、具体的な進め方が明確になり、数社と締結することができた。

社長の支援成果についてのコメント

契約と知財の手当てができたことで、食品乾燥機の全国展開から海外の展開基盤が整ったと感じている。また、海外企業とリスクを抑えた提携が可能となり、事業拡大の道筋が見えるようになった。ロシア／タイの事業を軌道に乗せ、次はアフリカ・欧州・北米、その他アジア圏へも展開したい。

リーダー： 須齋 嵩（知財経営）
支援担当者： 小柳 正（山口県知財総合支援窓口）